

市民性教育の観点から

連携のための 日本語教育実習研究会

参加費
無料

2026年3月1日(日)
13:30-16:00

第11回
特別編

日時

場所

テーマ

定員

大正大学(対面のみ)

市民性教育の観点から日本語
教育現場と日本語教師養成を
つなぐ実践を考えてみよう

30名

【内容】前半は、日本語授業での留学生の成果物(新聞への投書文)を、大学の日本語教師養成等の授業で活用した事例を話題提供します。後半はグループで、市民性教育の観点から、日本語教育現場と日本語教師養成をつなぐ連携や具体的な実践のアイデアについて話し合います。

【対象者】日本語教育人材育成にかかわる方、市民性教育に関心のある方

日本語教育関係者、日本語教育を学ぶ大学生、関心のある高校生など

●申込締切日：2026年2月24日(火) (定員になり次第受付を終了します)

研究会の趣旨

日本語学校と大学の実習におけるより良い連携を目指して、本音で話し、ともに考える場づくりを2023年度より試みてきました。3年目となる2025年度もさらに広く・深くみなさまと議論を重ねたいと思います。

【主催者】

澤邊裕子(東北大学)・中川祐治(大正大学)
山口洋典(立命館大学)・早矢仕智子(宮城学院女子大学)
西村美保(清泉女子大学)・杉本香(大阪大谷大学)
問い合わせ先: 西村 nishimura(a)seisen-u.ac.jp
杉本 sugimokao(a)osaka-ohtani.ac.jp

本研究会は、科学研究費(基盤B)プロジェクト「理論と実践の往還を通じた越境的学びによる日本語教師養成プログラム開発と検証」
(代表:北出慶子 立命館大学)の助成を受けて実施します。

お申し込みはこちらから↓



<https://forms.gle/UsUg5fJHbwvQ6LGKA>